

週間市場レポート (2023年3月6日~3月10日)

1) 先週の市場動向

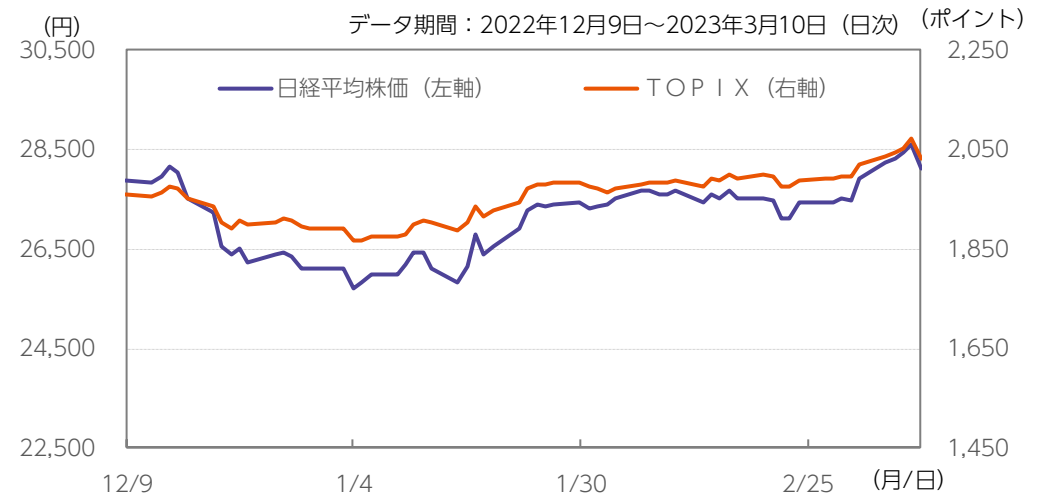
指数名	国	前週末 2023/3/3	先週末 2023/3/10	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		27,927.47	28,143.97	0.78
TOPIX (東証株価指数)		2,019.52	2,031.58	0.60
ダウ工業株30種平均 (ドル)		33,390.97	31,909.64	▲ 4.44
S&P500種指数		4,045.64	3,861.59	▲ 4.55
ナスダック総合指数		11,689.01	11,138.89	▲ 4.71
ユーロ・ストックス50指数		4,294.80	4,229.53	▲ 1.52
S&P/ASX300指数		7,242.16	7,102.73	▲ 1.93
上海総合指数		3,328.39	3,230.08	▲ 2.95
MSCI AC アジア (除く日本)*		828.75	799.90	▲ 3.48
東証REIT指数		1,825.15	1,821.29	▲ 0.21
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		744.83	691.89	▲ 7.11
ASX300 REIT 指数		1,405.50	1,403.40	▲ 0.15
グローバルREIT (除く日本)*		179.45	167.98	▲ 6.39
日本10年国債 (%)		0.506	0.411	▲ 0.095
米国10年国債 (%)		3.952	3.699	▲ 0.253
ドイツ10年国債 (%)		2.715	2.508	▲ 0.207
英国10年国債 (%)		3.849	3.640	▲ 0.209
ドル/円		135.87	135.03	▲ 0.62
ユーロ/円		144.68	143.70	▲ 0.68
英ポンド/円		163.65	162.42	▲ 0.75
豪ドル/円		91.95	88.82	▲ 3.40
フィラデルフィア半導体指数		3,028.34	2,923.93	▲ 3.45
WTI原油先物 (ドル)		79.68	76.68	▲ 3.77
CRB指数		275.05	264.99	▲ 3.66

2) 日本の株式・債券市場

◀ 株式 ▶

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に上昇しました。週初は、前週末に米長期金利が低下したことから、金利上昇局面で割高感が意識されていたハイテク株を中心に買い戻され大幅上昇しました。その後も、円安進行による輸出企業の採算改善期待や、インバウンド（訪日外国人）消費の本格回復期待、相対的な日本株の割安感などから買われ続伸し、9日の終値は2022年8月26日以来約6カ月半ぶりの高水準となりました。週末は2月の米雇用統計の発表を前に米国で利上げ再加速への警戒が強まり下落したものの、週間では前週末比で上昇しました。

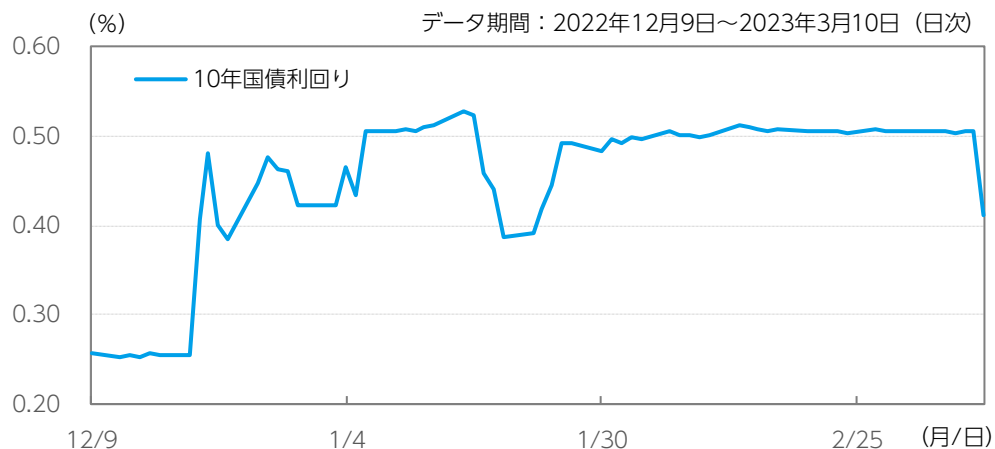
なお、9~10日の日程で開催された黒田日銀総裁在任中最後となる日銀金融政策決定会合では、大方の市場の予想通り金融政策の現状維持が決定されたことから、市場の反応は限定的でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

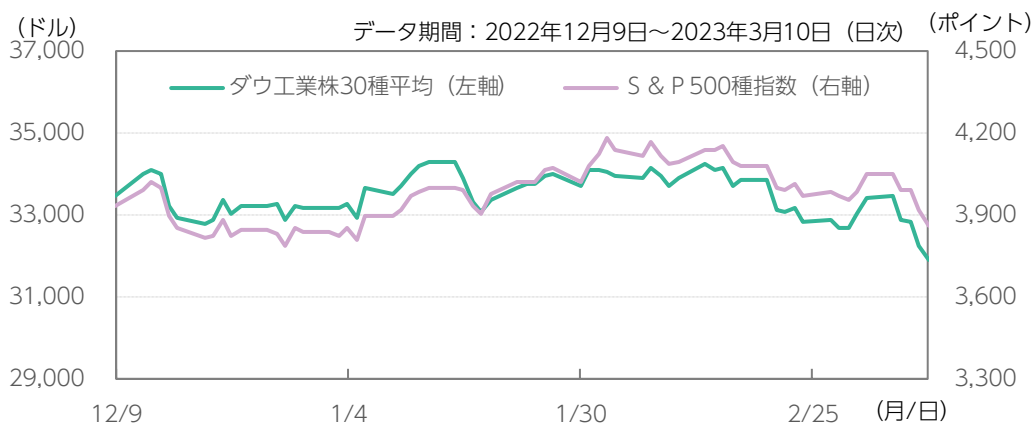
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下しました。日銀がいずれ政策を修正するとの思惑や、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げが長期化するとの懸念から米長期金利が上昇した流れを受け上昇しました。市場の一部では、9～10日の日銀金融政策決定会合で、日銀が金融引き締め方向に政策を修正するとの思惑があったものの、金融政策の現状維持が決定されると週末は大幅に低下しました（価格は上昇）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

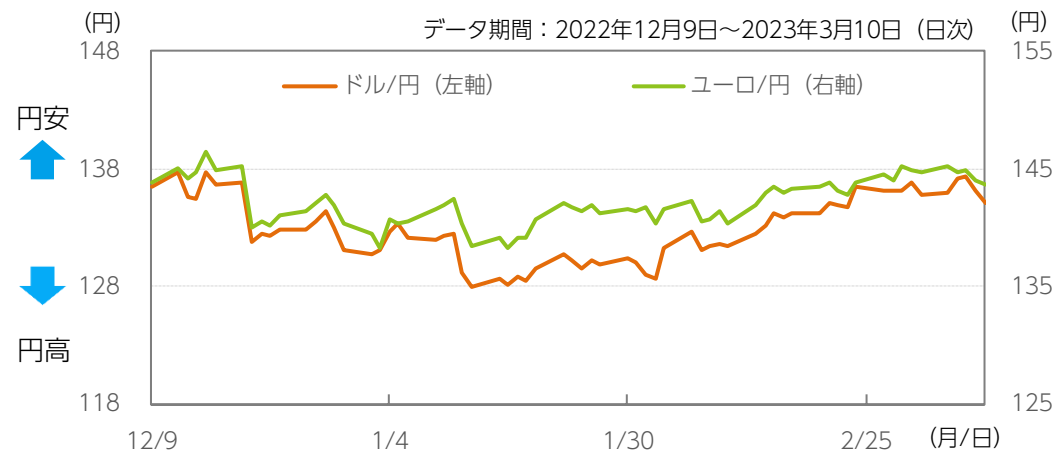
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で大幅下落しました。パウエルFRB議長が7日の議会証言で、3月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げ幅を拡大する可能性について言及したことから、FRBの利上げ長期化による景気悪化懸念から下落しました。週末は、2月の米雇用統計で平均時給の伸びが鈍化したことは好感されたものの、米中堅銀行の経営破綻により、米国の金融システム不安が強まり大幅下落しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。パウエルFRB議長が7日の議会証言で、利上げ長期化の可能性を示唆したことから大幅に円売り米ドル買いが進行し、一時およそ2ヵ月半ぶりに1米ドル＝138円台をつけたものの、米中堅銀行の破綻により米国金融システム不安が強まると、リスク回避目的の円買い米ドル売りが進みました。



5) 今週の見通しについて

21～22日にFOMCを控え、FRBの金融引き締めが長期化するとの思惑から、米国株式市場は下落しています。

10日（金）に発表された2月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+31.1万人と市場予想（同+20.5万人）大幅に上回り、引き続き労働市場のひっ迫が確認されました。なお平均時給の伸びは前月比+0.2%と低下し、過去1年間で最低水準となったものの、前年同月比では+4.6%と依然高水準であることから、FRBは当面、利上げを継続していくものと思われます。9～10日の日程で開催された黒田日銀総裁在任時最後の日銀金融政策決定会合では、大方の市場予想通り現行の金融政策は維持されました。植田和男次期総裁は、異次元金融緩和からの脱却に向け、経済動向を確認しながら慎重に政策修正のタイミングを探っていくものと思われます。

今週の株式市場は、米国の2月消費者物価指数や景況感を示す経済指標の結果を見極めながら、方向感を探ることとなりそうです。ただし、10日に経営破綻した米シリコンバレー銀行に続き、他の銀行も破綻するなど金融市場への影響が大きくなった場合には、大幅に下落する可能性もありそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>